

『 岩農のシンボル 』

いとひば

このいとひばは、岩農の創設地、白河小峰城から須賀川校舎、そして現在の鏡石校舎へと移植を繰り返し、岩農113年の歴史を守って来ました。



福島県立岩瀬農業高等学校

時代の進展に対応した魅力ある農業高校をめざします

校長 高橋 豊治

本校は明治41年の創立以来、114年の歴史と伝統を重ね、校地面積が41haの広大な敷地の中に多くの学習施設を持つ恵まれた教育環境にあります。また昨年、農産物生産管理の国際認証制度「グローバルGAP」の取得品目数が全国の高校で最多となる18品目となりました。GAP認証は本県農産物の風評被害の払拭を図り、誇れるふるさとを復興・再生する目的があります。本年度は、GAP食材を生かした商品開発や海外輸出等、様々な取組みを発展させ、教育課程実践検証協力校として高い専門性の習得や地域の活性化に貢献することを目指します。

『 教育目標 』

人格の完成を目指し、個性の伸長を図り、豊かな教養と実践力を養い、勤労と責任を重んじ、時代の進展に対応できる心身共に健康な職業人を育成する。

【 岩農■グローバル・アクション ～福島から世界へ広がる 新しい学び～ 】

農業教育の拠点として、福島（地域）から広がる新しい学び（大学や企業・行政等連携学習、地域貢献学習、農産物風評被害の払拭学習）世界を学びのフィールドとする新しい学び（海外で通用する商品開発・6次産業化学習、GAP認証食材の海外輸出等学習、大学進学者向け英検学習）SDGsに対応する新しい学び（GAPや循環型学習、食と農をつなぐ学習、人間性豊かな人材学習）生徒の夢を実現する新しい学び（早期の進路ガイダンス、大学進学者指導、生徒の可能性を引き出す進路指導）を展開することにより、時代の進展に対応した魅力ある教育活動を行います。

令和3年度の重点目標

1 「生きる力」の育成

- ◎ 基本的生活習慣の確立
- ◎ 道徳教育や豊かな人間性の推進
- ◎ 部活動・農ク活動の充実・活性化
- ◎ ボランティア活動の推進
- ◎ 寮教育の充実

2 学力の向上

- ◎ 基礎学力の定着
- ◎ 授業の充実やわかる授業の実践
- ◎ プロジェクト学習の充実
- ◎ 実験・実習などの専門教育の充実
- ◎ 学び直し学習の研究

3 進路目標の実現

- ◎ キャリア教育・職業教育の充実
- ◎ 早い段階の進路ガイダンス
- ◎ 資格取得の推進
- ◎ 自己理解の促進・進路意識の高揚
- ◎ 大学進学率の向上

4 開かれた学校づくり

- ◎ 地域や関係機関との連携
- ◎ 商品開発や海外輸出等の実践
- ◎ GAP教育の推進
- ◎ 広報（情報発信）活動の充実
- ◎ SDGsの実践

自己肯定感の醸成・自己教育力の育成

